

活躍する同窓生

経営者は ゴルフ界の 指導者

株式会社泉製作所 代表取締役社長 泉憲一氏



一人の“伝説的人物”の活躍が、本学ゴルフ部に今も語り継がれています。その人物の名は泉憲一さん。昭和46年卒業。泉さんは在学中からゴルフの非凡な才能を開花させ、4年生時には中部学生選手権優勝、卒業後は日本オープンでベストアマに輝くなど、数々の栄冠を手に入れました。現役を退かれた今、会社経営者と日本ゴルフ界の指導者として、2つの顔を持ち活躍されている泉さんをご紹介します。



「日本オープン」にてベストアマの栄冠を手に入れた泉さん。(昭和50年)



ゲバ棒よりクラブを持つ

泉さんがゴルフを始めたのは大学1年生の夏、学生運動が激化していく最中の昭和42年。きっかけは、ゴルフに熱心だった父親の「ゲバ棒振り回すよりクラブを持つ」の一言、当時まだ同好会であったゴルフ部に入学した。父親の勧めで始めたゴルフは天賦の才と絶えまない努力を糧に、メキメキと上達。2年生で中部学生選手権の新人戦優勝、2年・3年は主将を務め、4年生では中部学生選手権優勝を成し遂げる。

卒業後はバインダー専業メーカーとして、国内トップクラスの実績を持つ、家業の泉製作所に籍を置きながら活躍を続け、昭和50年には日本オープンのベストアマに。他にも中部アマ、中部オープンにおいてベストアマに輝いている。31歳で現役を引退するまでアマチュアゴルフ界にその名を轟かせた。地元三好カントリー倶楽部ではコースレコード66を打ち立て、この記録は未だ塗り替えられていないという。もちろん、泉製作所の社員として仕事を平行しながらのこと、両立させるのはかなり大変だったに違いない。

経営者として、ゴルフ界の指導者として

43歳で泉製作所の代表取締役に就任。この頃より、泉さんは会社経営者とゴルフ界の指導者という二つの顔を持ち、

履くことになる。中部ゴルフ連盟競技委員、ジュニア育成委員を歴任。また、日本ゴルフ協会のナショナルチーム監督を今も務めるなど、お世話になったゴルフ界への恩返しも忘れていない。

現在はゴルフ場運営にも携わる。三好カントリー倶楽部常務理事、三好高原カントリー倶楽部理事を務め、指導する立場、運営する立場からゴルフ界の発展を支えている。社業と合わせてゴルフ界での活動を合算すると、時間が365日では足りない程多忙を極めている。

ゴルフで培った決断力が財産

ゴルフで培った最大の財産が、自分の考えをすべし行動する「自己判断力」の大切さを学んだことという。「ゴルフも経営も一緒。上級者になればなるほど、白ら考え、白ら行動しなければならぬ」……かつて父親より贈られた言葉が今、人生の財産になつていると語る泉さん。

本学ゴルフ部の「伝説的人物」は、会社経営者、ゴルフの指導者、そして日本ゴルフ界発展の牽引者となった今も、学生時代そのままのバイタリティーとゴルフへの愛情を胸に活躍し続けている……。

活躍する同窓生募集!



名古屋学院大学同窓会会報「ngudo.com」では、各分野でご活躍される同窓生の方々情報を募集しています。お知り合いの同窓生で、「この人は」と思われる方がいらっしゃれば、是非同窓会事務局までご一報ください。電話、FAX、同窓会ホームページへの書き込み、どちらでも大歓迎です。ホームページへの書き込みは、トップページの「DO BOX」をご利用ください。

■名古屋学院大学同窓会事務局
☎052-242-6444 FAX 052-242-6445
◎同窓会ホームページ
<http://www.ngudo.com>